

昨日 緊急事態措置の延長が決定し、コロナの感染状況が まだまだ不安な毎日です。皆様も このような中でのお仕事、本当に大変だと思います。くれぐれもご自愛下さい。お一人お一人の上に 神様のお守りがいつもありますよう 心よりお祈りしております。

さて、例年 夏になると、年長組の恒例行事として行ってきた「お泊り会」ですが、コロナのために 昨年度は止むを得ず 中止にしました。けれども 今年は この現状で “どうか！ どうか…！”と 担任である小園江先生の 切なる願いと篤い祈りによって、“泊まらないけど保育園で楽しく過ごす日”として「いるか組のスペシャル・デイ」を 企画しました。コロナ対策を まず徹底的に考慮した上で、皆で 頭をひねりながら “今年の いるか組にとって 今 ふさわしいこと”を話し合い何度も検討しました。これまでの年長組が「お泊り会」を通して味わってきた様々な体験を 今回も同じ様に出来る限り工夫して準備したい…子ども達が 全員で 存分に楽しめる時にしたい…と。

そこで 改めて10名について それぞれの性格・普段の姿・得意なこと・好きな遊び・苦手なもの…など1人1人の笑顔を想い浮かべながら考え合い、何日も 模索しました。

ある時「スペシャル・デイに 保育園で 皆と先生達だけで やりたいことは？」という担任の質問に、子ども達が『ゆっくりしたい』『のんびりしたい』と答えたことを聞き大変 驚きました。でも 突然 世界が変わり、不自由で理不尽ばかりの生活を強いられ、子ども達の小さな心と身体の中は 多くの闇や重荷を抱え、声にならない悲鳴をあげて苦しんでいたのだと 気付かされ、それから は 子どもの心へ まなざしを注ぎました。

どんな事にも真面目で前向き、すごーく頑張り屋さんの10人。担任そのものです(笑) 4月から “つのぶえのリーダー”として色々な責任を担い いつでも 100%の10人。今回は そんな皆の心を 思いきり開放(解放)して、希望通り『のんびり』『ゆっくり』過ごしながら、いつも以上に 10人が自分らしさをのびのび発揮できる時にしよう。何よりも保育園が ますます大好きになる時にしよう。と先生達皆で力を尽くしました。

そして 先週9月4日(土)、他のクラスの皆様に 温かなご理解とご協力を頂きまして 『今日だけは 保育園 ぜ～んぶ！先生達 ぜ～んぶ！いるか組だけのものだよ』という特別なプログラムを、神様の恵みの中、守られて、無事 楽しく行うことが出来ました 私達職員も 我を忘れて夢中で遊び、日頃の保育では なかなか出来ない1人1人との関わりを通して 沢山の新しい発見や感動を与えられ、今 “心の絆”を実感しています 同じ時を分かち合い、共に笑い合い、想いを一つに感じ合うことこそ 人として生きる在るべき姿であり 人間関係の大切な基であることを 今一度 気付かされた思いです。その素敵な1日の様子についての詳細は“いるか組だより”をお読み下さい。(石田 記)

『あなたの幼子たちのいのちのために、主に向かって両手を上げよ。(哀歌 2:19)』